

本年度、本学では新たに16人の教職員を迎えました。そこで、今週号では、新規採用教職員の皆さんを紹介します。

## よろしくお願ひします！ 新規採用教職員紹介



### ◆ 安高 純一郎（法人本部・理事長特別補佐兼内部監査室長）

この度、貴重なご縁を賜り本年4月より理事長特別補佐兼内部監査室長に着任させて頂きました。総合商社、IT、外資系コンサルを経て2007年に来熊し、平田機工（株）で国際ビジネス、管理、経営等に携わり昨年6月末に卒業。“Nothing is impossible. Just do it!”の気持ちで本学の発展に貢献して参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



### ◆ 青木 学（医学検査学科教授）

7年ぶりにアメリカ国立衛生研究所より戻って参りました。施設が充実し、また面白い研究をされている先生方が増え、大学が着実に進歩しているのを実感しています。更なる飛躍を目指しベストを尽くします。皆様よろしくお願ひします。



### ◆ 松本 恵美子（同教務嘱託）

国立病院機構病院での臨床検査技師長の任を終え本学にてお世話になります。主に認定血液・骨髄検査技師として臨床に携わってきました。お役に立てるよう自己研鑽に努めて参ります。ご指導の程よろしくお願ひします。



### ◆ 川口 弥恵子（看護学科准教授）

はじめまして。新しく看護学科母性看護学領域に着任いたしました川口弥恵子と申します。学生さんが看護を学ぶ中で、看護って楽しい！と思えるようお手伝いしたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



### ◆ 久松 美佐子（同准教授）

この度、看護学科の精神看護学領域に着任致しました。本学の理念の「思慮」深さと「仁愛」の心をもってケアを提供できる看護者を育成できるように尽力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



### ◆ 江上 史子（同講師）

看護学科に着任いたしました、江上史子と申します。熊本県初心者のため、県や大学の仕事について早く覚え、一人前になれるようがんばりたいです。散歩が好きで、路地裏の階段を見つけたり登ったりしてよく道に迷っています。よろしくお願ひいたします。



### ◆ 吉野 拓未（同講師）

看護学科基礎看護学領域に着任しました、吉野拓未と申します。コロナ禍にあって、思うような生活が出来ない状況が続いていますが、人との関わりを通して、看護の楽しさを共に学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



◆枝尾 久美（リハビリテーション学科理学療法学専攻講師）

理学療法学専攻および健康・スポーツ教育研究センターに着任しました。整形外科での勤務を経て、現在はトレーナーとして実業団バスケットチーム等で活動しております。臨床力のある理学療法士の育成に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



◆田中 貴士（同講師）

リハビリテーション学科理学療法学専攻・講師の田中貴士と申します。熊本機能病院、大阪、金沢を経て、地元熊本に帰ってくる事ができました。本学及び熊本・九州の医療の発展に貢献して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



◆本田 啓太（同講師）

前職では東北大学病院にてリハビリ診療や脳卒中後歩行障害のメカニズム解明に向けた研究に取り組んできました。これまでの経験を活かして社会に貢献できる医療技術者の育成に努めます。よろしくお願いいたします。



◆久保下 亮（同講師）

私は熊本県八代市の出身ですが、熊本県で仕事をするのは今回が初めてで、二十数年ぶりに熊本県民となりました。また、私は理学療法士として教育・臨床に携わりながら、日本車いすテニス協会のトレーナー部にも所属しております。今後ともよろしくお願いいたします。



◆山本 良平（同講師）

研究テーマは「動作の学習」です。今後はこれまでの知見を理学療法技術に応用し、学生の技術習得に役立てます。また、新しい環境で学生や教員・職員の皆さんから刺激をもらい新たなことに挑戦したいと考えています。



◆内村 香代子（認定看護師教育課程・特定行為研修課程専任教員・助教）

私は3月まで北九州市の急性期病院で認知症看護認定看護師として勤務しておりました。初めての教育機関での勤務になりますので、これから教育や研究について積み重ねていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。



◆石田 貴博（医学検査学科・臨時教員）

医学検査学科、臨時教員の石田貴博と申します。前職では福岡県の病院で勤務していました。今回、主にPCR検査要員として勤務する事になり、検査体制に貢献していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



◆男武 知加（リハビリテーション学科生活機能療法学専攻・臨時教員）

生活機能療法学専攻、実習関係の臨時教員として勤務することになりました。OTを目指す学生さんたちに触れ仕事ができることを、大変うれしく思っています。精一杯がんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



◆中村 祐貴（教学支援課 健康・スポーツ教育研究センター・臨時職員）

私の特技は「応援」です。松岡修造氏のように熱い応援を皆様届けられるよう日々の業務に人一倍情熱をもって取り組み、本学のさらなる発展に少しでも貢献できるよう頑張ります。皆様、よろしくお願い致します。

# 「基礎セミナー」支え続けて16年

## 共通教育センター 杉内先生に感謝の花束

初年次教育の花形として、学科混成で行われる「基礎セミナー」があります。各学科の先生方には2年に1度くらいの頻度で協力をいただいています。なかには毎年担当していただける先生もおられ、取りまとめ役の共通教育センターとしては感謝の限りです。

その最たる方が杉内博幸先生です。杉内先生には平成18年の着任以来、ほぼ毎年担当していただきました。テーマは「障がい者スポーツと私」。実際の練習場に出向いて障がい者スポーツを楽しみながら学ぶフィールドワーク型のセミナーで、学生にも大好評でした。受講した学生たちは、2年生、3年生になってからも、毎年開かれる障がい者スポーツイベントでボランティアを募集すると、必ず手を上げてくれたとのこと。

この度セミナー担当を「卒業、されることになり、3月29日（火）、共通教育センター教職員が見守る中、花束を贈り16年間の協力に謝意を伝えました。（共通教育センター長・東谷孝一）



花束を贈られ、共通教育センターの皆さんと記念撮影する杉内先生と



## クイズで大盛り上がり

新入生歓迎会が6日（看護学科、リハビリテーション学科）と7日（医学検査学科）、いずれもレストランで行われ、クイズなどを通して新入生同士で交流を深めました。

歓迎会は学友会（山内佑介会長＝リハビリテーション学科理学療法学専攻4年）が企画・運営。当日はレストランの吹き抜け部分にスクリーンを設置し、画面上に映し出されるクイズに新入生たちが挑みました。徐々に難易度の上がるクイズに会場も盛り上がりつつありました。

（安部悠介）＝写真は新入生歓迎会の会場

## 学友会が新入生歓迎会

## 遠隔授業での学修評価を考える

2021年度の第2回FDセミナーが3月25日（金）、開催されました。筑波大学 大学研究センターの田中正弘准教授がZoomを通じ「大学における学修評価のあり方再考－遠隔授業における評価方法－」と題して講演。教員89人、職員12人が参加しました。

## FDセミナー

講演では、遠隔による試験方法として暗記中心の選択問題に替えて理由を書かせる論述式問題の採用などいくつかの対策が紹介されました。また、学生の学修を促進するための方策として、田中准教授は「自分は何ができて何ができないか」という評価結果を、「これから自分は何をすべきか」につなげられなければならない、その実現には科目の到達目標を学生が十分理解していること、評価が学修の途中で行われること（形成的評価）、そしてルーブリックを使って評価に学生も加わることが重要だと訴えていました。セミナー後は、FD委員長から、新年度から始まるGP分布シートの配付について説明がありました。

（FD委員長・渡辺雄一）

# リーダーに求められるスキルとは...

学友会とクラブ活動における学生のリーダー養成と親睦を目的としたリーダーズ研修会が3月23日（水）、オンライン方式で開催されました。一昨年と昨年の2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催できない状況が続きましたが、「今年こそは」という思いで、何とか開催まで漕ぎつけました。オンライン開催ということもあり、学友会運営部と新年度からクラブ部長を務める学生ら総勢96人が参加しました。

CCIジャパン日本コミュニケーション・コーチング研究所の元田暁輝氏を講師に、「最高のパフォーマンスを発揮する—

## 研修会に学生96人

リーダーとして世界最高峰のコーチングのスキルの一部を学び、「よいチームづくりに貢献する」というテーマで、リーダーに求められるコーチングスキルについて学びました。元田氏の巧みな話術や示唆に富む講話とグループワークにより、予定していた2時間30分はあっという間に過ぎていきました。終了後のアンケートからは、多くの気づきや学びがあったことがうかがわれました。

学生たちが今回の研修会で学んだスキルを実践し、学友会活動やクラブ活動に活かしてくれることを期待します。

(学務課)

## 銀杏アラカルト

◆教育改革推進プログラムの成果を報告 教育改革推進プログラム（学長裁量経費）の成果報告会が3月30日（水）、キャンパステラスで開催されました。同プログラムは、本学における教育改革の推進を目的としています。プログラムの選定は学長が行い、4～8件の採択予定件数を目安に予算の範囲内で実施。規模の大小にとらわれず、将来性・発展性を考慮し、幅広い分野で優れた計画を選定します。2021年度は9件が採択され、今回そのうち6件の成果が報告されました。報告会の模様は、Zoomでも中継されました。

(安部悠介)



映像資料を紹介する山鹿敏臣講師



コメント付きで展示されている教職員お薦め図書



## 図書館だより

### 教職員のお薦め図書 コメント付きで展示

図書館では、理事長、学長はじめ教職員のお薦め図書をコメント付きで展示しています。新しく入職した教職員の皆様、ぜひお薦めの図書をご紹介ください。また、新入生、学生の皆さん、手に取ってみてください。医療系以外のさまざまな分野の図書があり、きっと新しい世界が広がります。